

# 大道芸人 Kei の今夜もジャグラーズハイ！

特別号 その① 2014 11 19 発行

## ジャグラーズハイ 2周年にして初の特別号！

いつもジャグラーズハイを読んでくれるみなさん、ありがとうございます。  
今回のジャグラーズハイは特別号！いつもとは違って実践的な内容になります。  
特別号第1弾のテーマは大道芸人Kei流の**音楽の選び方・音楽との合わせ方！**  
みなさんのお役に立てばうれしいです！それでは早速いってみましょう！

## 音楽どうやって選べばいいの？

ジャグリングを人前で見せる場合、音楽は欠かすことが出来ない大事な要素になります。でも「どうやって選んだらいいかわからない」って方も多いのではないのでしょうか。

ここでは、選び方のポイントをまとめてみました。

### ①日本語歌詞のないものを選ぶ

日本語の歌詞が付いているものを選ぶと曲の目の前で披露されているジャグリングよりも曲のイメージの印象が強くなってしまいますことがあります。歌詞のないインストゥルメンタルやクラシック・ジャズ・映画のサントラなどから曲を選んだ方がいい場合が多いです。歌詞があるなら洋楽などのほうがいいでしょう。

### ②早すぎない・遅すぎない

曲の早さが極端に早くても遅くてもジャグリングで合わせるのは難しくなってしまいます。道具を持たずに曲を聴きながらイメージして、気持ちよく動ける早さのものを選びましょう。

### ③自分が好きな曲から選ぶ

自分が好きになれない曲で演技しても、いい演技にはなりません。練習中何度となく繰り返し聴くことになる曲になります。「好き」と思える曲から選びましょう！

ここから先は少し難しくなります。

### ④キメの強さ・回数が自分の腕前と合っている曲を選ぶ

曲の中には、特定のタイミングで何か派手な技をいれるとハマる曲があります。そのタイミングを僕は**キメ**と呼んでいます。

キメには強さがあり、強いキメは失敗をしてしまうと相当に格好悪いですし、かといってキメをスルーして何もしないと音楽が流れているだけになってメリハリのない演技になってしまいます。

ですので曲のなかにあるキメの強さと回数を自分の腕前と照らし合わせて、最低限自分が「いける！」と思えないといい結果には結び付きません。

### キメの強い曲の例

B 'z ウルトラソウル ♪ウルトラソウルッ！のところなど  
まるまるもりもり ♪あしたも～晴れるかなっ！のところなど  
ルパン三世のテーマ '78 ♪ルパンザサ～！ のところなど

### ⑤曲の終わり方に注目する

終わりよければすべてよし！という言葉はジャグリングでは結構当てはまります。逆にいうと終わりがぬるっとしてしまうと演技としては魅力半減です。

曲のラストに上手くハマりやすいキメがあると結構いい演技を作りやすいですし、拍手ももらいやすくなります。

## 音楽に合わせて演技を作ろう！

使う曲が決まったら次は音楽に合わせて演技を作ってみましょう。

ハッキリ言っておきますが、ここからがまた大変ですよ～

まずはじめに音楽に合わせた演技を作るには段階があるので紹介します。

### レベル① BGMとして流すだけ

これはただ曲が演技の後ろで流れているだけです。キメにも合わせませんし音楽が足りなくなったり余ったりします。音楽をかける意味はあまりない状態と言えます。

### レベル② 最初と最後だけ合わせる

曲の長さは分かっていて、最後は曲の終わりに合わせて終わることが出来る状態です。少なくとも演技しながら音楽を聴けていないとできません。

### レベル③ 曲中のキメに何かのアクションで合わせることが出来る

曲を聴けているので最初と最後もきっちり合わせて演技らしくなってきます。

### レベル④ 曲のテンポや細かいキメにもあった動きが出来る

曲中の道具のチェンジやフォーメーションの移動なども無駄なく考えられていて、曲のテンポや細かいキメにもあった動きになっている状態です。ここまできたら演技は7割完成といった感じです

### レベル⑤ レベル④に加えて実際に観客がいることをイメージした動きが出来る

キメに合わせたときの観客へのアピールや、ミスが出たときのリカバリーも充実しているとより完璧に近いと言えます。目線の運び方や、表情なども大切になります。

はじめて演技を作る場合は曲の長さ（尺：しゃくと言います）を短めのものを選ぶところからはじめましょう！

ムリして3分～5分とかの曲を使う必要はありません。

1分とか1分30秒くらいの曲で、色んな演技を考えてみるのがいいトレーニングになると思います。

最初はレベル②を目指し、音楽に意識を向けつつ演技をしていきます。

慣れてきたらレベル③の曲の途中にあるキメにも反応出来るように考えていきます。

実際にやってみると自分が普段練習している技がまだまだ不安定なことに気づくかもしれません。

人前で演技するという事は、ジャグリングをする手にもかなりのプレッシャーがかかります。

そんなプレッシャーに負けない、あわよくばプレッシャーに慣れちゃうことが大切です！

どんどん演技を作って、機会があったらバンバン人前で披露して、ジャンジャン経験値を獲得して行って下さいね！

練習だけでは得られない経験が、人前での自分を強くしてくれます。

自分の練習ではプレッシャーに負けない技の数々を、本番ではどんなときでも自分の演技を観客に届けられるハートの強さを身につけていくことがジャグリングの醍醐味のひとつと言えると僕は考えています。

まずは、手の届くひとつひとつの技から

次に自分自身のレベルを上げていく演技づくりを頑張ってください！

練習用の曲の入ったCDを用意しました。

是非発表する機会がある方は、演技を作るきっかけにして頂ければと思います。

このままこの中の曲を演技に使ってもいいですし、あくまで演技を作る練習に使って頂いてもかまいません。

## みなさんの演技がパワーアップしますように！